



平成28年 第3回定例会：11月17日

鴻巣行田北本環境資源組合議会会議録

鴻巣行田北本環境資源組合議会

平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会会議録 目次

○招集告示	1
○議事日程	2
○会議に付した事件	2
○出席議員（13名）	2
○欠席議員（1名）	2
○説明のため出席した者	2
○事務局職員出席者	3
○開 議（午後 2時00分）	4
○諸般の報告	4
○開 会（午後 2時01分）	4
○議事日程の報告	4
○会議録署名議員の指名	4
○会期の決定	5
議会運営委員長報告	5
採決	5
○副議長の選挙	5
○議案第14号の上程、提案説明	7
原 口 和 久 管理者	7
水 村 光 行 会計管理者	8
○上程議案の質疑	11
質疑 9番 小林友明議員	11
答弁 佐野雄一 計画建設課長	12
要望	13
質疑 10番 香川宏行議員	13
答弁 片寄仁志 次長	14
質疑 12番 金子真理子議員	14
答弁 片寄仁志 次長	14

再質疑	1 5
再答弁	1 5
○上程議案の討論、採決	1 5
○特定事件の委員会付託	1 6
○閉 会（午後 2 時 4 2 分）	1 6
<hr/>	
○署名議員	1 7

鴻環資組告示第9号

平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会を、11月17日小針クリーンセンター2階会議室に招集する。

平成28年11月7日

鴻巣行田北本環境資源組合
管理者 原口和久

平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会会議録

○ 議事日程

平成28年11月17日(木) 午後2時00分開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 副議長の選挙

第4 議案第14号 鴻巣行田北本環境資源組合会計歳入歳出決算認定について

第5 特定事件の委員会付託

○ 会議に付した事件

議事日程に同じ

○ 出席議員(13名)

1番	川崎葉子	議員	2番	金子雄一	議員
3番	細谷美恵子	議員	4番	梁瀬里司	議員
6番	渡邊良太	議員	7番	大塚佳之	議員
8番	坂本晃	議員	9番	小林友明	議員
10番	香川宏行	議員	11番	岸昭二	議員
12番	金子真理子	議員	13番	阿部慎也	議員
14番	吉田豊彦	議員			

○ 欠席議員(1名)

5番 松島修一 議員

○ 説明のため出席した者

原口和久	管理者
工藤正司	副管理者

現	王	園	孝	昭	副	管	理	者
水	村	光	行	會	計	管	理	者
吉	田	幸	一	監	查	委	員	
小	林	乙	三	參	與			
長	島	祥	一	參	與			
長	島	良	和	參	與			
前	島	伸	行	參	與			
関	口	泰	清	參	與			
加	藤		浩	參	與			

○ 事務局職員出席者

事	務	局	長	程	塚	勲
次	長	片	寄	仁	志	
計	画	建	設	課	長	佐
副	參	事	新	倉	雄	一
書	記	今	井	剛	史	

午後 2時 00分 開議

△諸般の報告

○程塚 勲事務局長 開会に先立ちまして、事務連絡をさせていただきたいと存じます。当組合において、本年7月21日付けで選任されました、吉田幸一監査委員が出席いたしておりますので、ご紹介申し上げます。

[吉田幸一監査委員 登壇]

○吉田幸一監査委員 ご紹介いただきました、吉田幸一でございます。今回、監査委員として任命されましたので、今後皆様とともに一所懸命やっていきます。よろしく願いいたします。

○程塚 勲事務局長 ありがとうございます。

2点目でございますが、本日の議会終了後、一旦休憩を挟みまして、事務局から報告事項がございますので、お時間をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

午後 2時 01分 開会

○吉田豊彦議長 本日皆様には、公私極めてご多忙のところ本組合議会定例会にご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から、平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会を開会いたします。出席議員が13名で定足数に達しておりますから議会は成立いたしております。

△議事日程の報告

○吉田豊彦議長 これより以降の議事日程を報告いたします。

事務局をして朗読いたさせます。————— 事務局。

[事務局朗読]

△会議録署名議員の指名

○吉田豊彦議長 まず、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第80条の規定により議長において指名いたします。

9 番 小林 友明 議員

10 番 香川 宏行 議員

以上2名の方をお願いいたします。

△会期の決定

○吉田豊彦議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

本件につきましては、閉会中の継続審査として議会運営委員会に付託してあり
ましたので、その結果について報告を求めます。

——— 議会運営委員長 10番 香川宏行 議員。

[香川宏行議会運営委員長 登壇]

○香川宏行議会運営委員長 ご報告申し上げます。

当委員会は、去る11月10日に委員会を開催し、本定例会の会期及び日程に
ついて協議をいたしました結果、会期を本日1日とし、お手元に配布いたして
おります、平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会議事日程のと
おり決定した次第であります。

議員各位におかれましては、この日程にご賛同賜りまして、円滑にして効率的
な議会運営がなされますようお願い申し上げます、報告を終わります。

○吉田豊彦議長 お諮りいたします。ただいまの議会運営委員長報告のとおり、本
定例会の会期を本日1日とすることにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○吉田豊彦議長 ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日1日と決定いたしました。

本定例会に、地方自治法第121条の規定により、説明のため管理者その他関
係職員の出席を求めました。

次に、管理者から提出されました議案につきましては、お手元に配布してあり
ます印刷文書によってご了承願います。

△副議長の選挙

○吉田豊彦議長 次に、日程第3、副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。本組合議会副議長の選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定による指名推薦によりたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○吉田豊彦議長 ご異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推薦によることに決しました。

次に、お諮りいたします。議長において指名することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○吉田豊彦議長 ご異議なしと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

本組合議会副議長に、川崎葉子議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました川崎葉子議員を本組合議会副議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○吉田豊彦議長 ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました川崎葉子議員が本組合議会副議長に当選されました。副議長に当選された川崎葉子議員が議場におられますので、本席から会議規則第31条第2項の規定により告知いたします。

では、当選されました川崎葉子議員にごあいさつをお願いいたします。

〔川崎葉子副議長 登壇〕

○川崎葉子副議長 この度、皆様方のご推挙を頂きまして、副議長という大役を仰せつかりました川崎葉子でございます。どうぞよろしく願いいたします。本組合は新たなごみ処理施設の建設という市民生活に欠くことのできない重要な事業を推進しているところでありまして、議会の役割も今後一層重要であると考えております。こうしたことから、副議長として議長を補佐いたしまして議会が公正かつ円滑に運営されますよう、さらに組合の事業が円滑かつ着実に推進されますよう、努力してまいりたいと考えております。どうか議員各位並びに執行部の皆様におかれましては、ご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

△議案第14号の上程、提案説明

○吉田豊彦議長 次に、日程第4、議案第14号を議題といたします。

朗読を省略して管理者に提案理由の説明を求めます。——— 管理者。

[原口和久管理者 登壇]

○原口和久管理者 本日、ここに平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私とも大変ご多用の中をご参集賜り、重要案件につきましてご審議いただきますことに、心から厚くお礼を申し上げます。

本定例会においてご審議いただく案件は、平成27年度組合会計決算認定でございますが、何とぞ慎重にご審議をいただき、今後とも鴻巣行田北本環境資源組合の運営に、なお一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げる次第でございます。

さて、新施設建設事業につきましては、現在、施設建設予定地の地域住民の方々とごみ処理施設の円滑な整備等を行うための協議を行ってまいりましたが、周辺環境整備に関し、合意形成を図っているところでございます。

また、新施設建設等検討委員会に対し、安定的かつ経済的なごみ処理施設とするための、公害防止の自主基準値、施設規模、処理方式及び事業方式などについて、意見を求めているところでございます。詳細につきましては、事業の進捗状況等と合わせまして、議会終了後に事務局から報告いたさせますので、よろしくお願いいたします。

それでは早速、本定例会に提出いたしました議案第14号についてご説明申し上げます。なお、細部につきましては、後ほど会計管理者から説明いたさせますので、よろしくお願い申し上げます。

議案書の1ページ、議案第14号平成27年度鴻巣行田北本環境資源組合会計歳入歳出決算認定についてでございます。

決算の総額は、歳入6億5,195万186円、歳出5億7,481万7,501円で、歳入歳出差引額は、7,713万2,685円となっております。なお本件は、既に監査委員の審査も終了しており、その審査意見書並びに関係資料

として決算付表を配付させていただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で、議案第14号の説明を終わらせていただきます。

○吉田豊彦議長 次に、議案第14号について、事務局の細部説明を求めます。

——— 会計管理者。

○水村光行会計管理者 それでは、議案第14号平成27年度鴻巣行田北本環境資源組合会計歳入歳出決算認定について、細部説明を申し上げます。

別綴りの平成27年度歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書をご覧くださいと存じます。

初めに、1ページ、2ページをお開き下さい。

1ページの下欄外に記載しておりますが、3市広域分の記載方法について説明文を入れさせていただいております。表中のカッコで括った金額が3市構成市に係る広域業務の経費となっており、広域分がない項目及び歳入歳出がゼロの場合には、カッコ書きを省略させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、歳出からご説明申し上げます。決算書の3ページ、4ページをお開き下さい。

1款議会費1項議会費の支出済額は、3ページの一番右の列になりますが、9万9,334円でございます。これは組合議会関係経費でございます。全額3市広域の業務に伴う経費となっております。前年度と比較しまして、5万2,131円、率にして5.37%の減少となっております。主な支出は、組合議員の報酬でございます。不用額8万8,666円は、構成市における組合議会議員選挙に伴い、報酬額の日割り計算により生じたものと、臨時会の開催がなかったことによるものでございます。

次に、2款総務費の支出済額は、8,874万456円となっております。前年度と比較しまして、568万5,613円、率にして6.02%の減少となっております。総務費のうち、1項総務管理費の支出済額は、8,862万8,562円となっており、主な支出は職員の人件費でございます。職員人件費の合計は、8,182万6,487円で、総務費全体の約92%を占めるものでござい

ます。不用額 200 万 2,438 円は、主に人件費に係るものでございます。

また、広域の業務に伴います人件費は、4,908 万 7,191 円で、3 市の協議に基づき人件費全体の約 60%となっております。

次に、2 項監査委員費及び 3 項公平委員会費の支出済額は、それぞれ 5 万 1,694 円と 6 万 200 円で、前年とほぼ同様の支出であり、全額広域の業務に係る経費となっております。

次に、3 款事業費の支出済額は、4 億 5,647 万 9,100 円となっております。前年度と比較しまして、9,878 万 5,479 円、率にして 17.79%の減少となっております。主な支出は、施設の運転維持管理に伴うもので、施設の修繕費、運転保守管理業務委託料や焼却灰等処分業務委託料などとなっております。不用額 3,537 万 6,900 円は、主に電気使用料及び焼却灰処分業務委託料の残でございまして、排ガス処理設備で使用する消石灰及び特殊反応助剤等の薬品の反応効率が高く、使用量が減少したことに加え、これに伴う機器の使用電力も減少したことによるものでございます。

次に、4 款施設整備費の支出済額は、2,867 万 8,611 円でございますが、すべて広域の業務に係る経費となっております。前年度と比較しまして、2,355 万 2,784 円、率にして 459.49%の増加となっております。主な支出は平成 26 年度から 2 ヶ年事業で実施しました、一般廃棄物処理基本計画等策定業務及び熱回収施設等建設候補地選定支援業務に伴う委託料でございます。不用額 118 万 9,389 円は、新施設建設等検討委員会の報酬及び費用弁償の辞退等によるものや委託業務の変更契約に伴うものでございます。

次に、5 款公債費及び 6 款予備費でございますが、支出はございませんでした。

次に、一番下の歳出の合計額は、支出済額 5 億 7,481 万 7,501 円、不用額は 4,071 万 7,499 円でございます。

次に、歳入について、ご説明申し上げます。戻りまして 1 ページ、2 ページをお開き下さい。

初めに、1 款分担金及び負担金について申し上げます。収入済額は 2 ページの最上段の一番左になりますが、4 億 9,427 万 1,000 円でございます、歳入総額に占める割合は 75.81%でございます。前年度と比較しまして、8

76万円、率にして1.8%の増加となっております。増加の主な要因は、一般廃棄物処理基本計画等策定業務及び熱回収施設等建設候補地選定支援業務に伴う委託料によるものでございます。

次に、2款使用料及び手数料の収入済額は9,697万6,500円でございます。これは事業系ごみの処理手数料でございます。前年度と比較しまして34万9,650円、率にして0.36%の増加となっております。なお、収入未済額が5万5,142円生じておりますが、これは平成26年度末現在の処理手数料の滞納繰越分4万4,342円に加え、平成27年6月まで月払いで手数料を納めていた業者が倒産し、7月分の手数料1万800円が未収金となったことによるものでございます。

次に、3款県支出金は、37万5,000円でございますが、これは組合で実施しました一般廃棄物処理基本計画等策定業務の中で検討しました、生ごみバイオガス化部分についての、埼玉県からの補助金でございます。

次に、4款財産収入は、13万6,818円でございますが、これは財政調整基金の預金利子でございます。

次に、5款繰入金は、財政調整基金からの繰入を行わなかったものでございます。

次に、6款繰越金は、6,001万9,264円で、前年度繰越金でございます。前年度と比較しまして、7,336万4,727円、率にして55%の減少となっております。

次に、7款諸収入は、17万1,604円で、1項預金利子4万6,814円と2項雑入12万4,790円でございます。前年度と比較しまして、11万3,759円、率にして39.86%の減少となっております。

以上が款ごとの収入済額でございます。一番下の段、歳入合計をご覧ください。調定額6億5,200万5,328円に対する収入済額は、6億5,195万186円でございます。予算現額と収入済額との比較で、3,641万5,186円の増額となっております。

次に、19ページをお開き下さい。実質収支に関する調書でございます。

歳入総額が6億5,195万186円でございます。歳出総額は5億7,48

1万7,501円となりまして、歳入歳出差引額は、7,713万2,685円でございます。実質収支額も同額でございます、翌年度へ繰り越すものでございます。

次に、20ページになりますが、財産に関する調書についてご説明申し上げます。

まず、1の公有財産のうち(1)土地及び建物の表の右側の建物でございますが、決算年度中増減高が旧管理棟の解体に伴いまして173.73平方メートルの減となりましたので、決算年度末現在高は、3,723.20平方メートルとなっております。

次に、2の物品につきましては、草刈機の入替えを行いましたので、決算年度中増減高が1増1減となっております。

次に、4の基金につきましては、平成26年度から設置いたしました財政調整基金9,800万円に、定期預金利子13万6,818円が増加し、9,813万6,818円となっております。なお、財政調整基金は本年度も定期預金による運用をしております。

以上で、議案第14号平成27年度鴻巣行田北本環境資源組合会計歳入歳出決算認定について、説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○吉田豊彦議長 以上をもって、説明は終わりました。

△上程議案の質疑

○吉田豊彦議長 これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。――― 初めに、9番 小林友明議員。

○9番 小林友明議員 只今ご説明いただきました平成27年度歳入歳出決算書の中の事項別明細書の係わりで、1点ほど質疑をさせていただきます。5ページから6ページの部分でございます。

歳入の県支出金の係わりですが、歳入として37万5,000円が入っておりますということでございますけれども、この部分を見ますと、当初予算がなく県の支出金として37万5,000円が収入になっているということで明記されておりますが、まず一つは当初予算がなく収入に至った経緯について、どのよ

うな経緯で収入になったのかを教えてください。

それと同時に、先ほど事務局からの説明では、この生ごみバイオガス化発電事業化検討業務補助金という係わりで検討はしましたという説明はあったのですが、ではこの検討に伴っての実質的な支出が発生しているのか、その辺をご説明いただきたいと思います。同時に生ごみバイオガス化発電事業化検討業務補助金ということでの具体的な検討内容をお示しいただきたいと思います。

なおかつ、この生ごみバイオガス化の話は、今までこの環境資源組合の中で、一度も出ていなかったと記憶しております。この組合の中でこの話を出さなかった何がしかの理由があるのか、その辺を示していただきたいと思います。少なくとも検討したのであれば先ほど申し上げたように、具体的にどんな検討を加えて、これからどうしようかということ念頭に置きながらのことなんですよ、ということであればしっかり開示してもらって、私たち議員の意見を求めることも必要ではないかと思いましたので、その辺も含めて説明していただきたいと思います。以上でございます。

○吉田豊彦議長 執行部の答弁を求めます。——— 担当課長。

○佐野雄一計画建設課長 小林議員さんのご質疑についてお答え申し上げます。まず、生ごみバイオガス化発電事業化検討業務補助金につきましては、平成27年6月に県から補助要綱が届きました。このことから補助金の交付申請を行い、補助金の交付決定をいただいたことから生ごみバイオガス化を検討するに至ったものでございます。そういったことで当初予算には計上していない形になっております。

それから、バイオガス化につきましては、広域化方針の中でごみ処理技術、ごみ処理システムを選定する中で、メタン化バイオガス化方式も併せて検討を行わせていただきました。具体的な検討内容につきましては、既存のバイオガス化施設の調査、それから、資源化物バイオガスの利用方法、発酵残渣の処理方法、それから本組合におけるメタン化施設の方式の検討、その他施設導入の有効性の検証等々を行いました。

メタン化バイオガス化におきましては、生ごみ等の有機性ごみを分別収集又は選別してメタン発酵させバイオガスを回収する技術となっております。メタン化

施設はそれだけで燃やせるごみの処理が完結する施設ではなく、残渣や排水、汚れた水等を処理する別の施設が必要となります。メタン化施設にごみ焼却施設を併設することが一般的な方式となっております。

メタン化施設は施設整備に関し国の交付金が受けられるほか、通常のごみ発電と比較し高い価格で買い取りされるなどのメリットがございますけれども、全国的に導入事例が少なく、安定的な処理を長期間継続して行っている実歴がございません。また、メタン化施設にごみ処理施設を併設するなど、設備数が増加するため設備投資や維持管理面で不安要素があることなどから、検討した結果、本組合で整備する熱回収施設のごみ処理システムの選択肢から除外するに至ったものでございます。なお、メタン化の検討に当たっての費用につきましては、支出の方の一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託料の中で支出してございます。それからメタン化の検討に当たりましては、その検討結果を組合のホームページの方に広域化方針等と合わせて掲載しておりますので、後ほどご覧いただければと存じますので、よろしくお願いいたします。

○吉田豊彦議長 再質疑ありますか。 ————— 9番 小林友明議員。

○9番 小林友明議員 ご説明ありがとうございました。歳出の方は委託料の中で支払ったとの説明でありましたが、縷縷細かいことの説明もいただきましたけれども、まさしく聞いているだけでは分からない、それこそ何でどういう経緯で我々議員に示されなかったかというのが、非常に疑問符が打たれるところかと思っておりますので、後で結構ですからこの係わりの状況についての詳細な書面を私たち議員に示していただきたいと思っております。

たまたまなんですけれども、このバイオガス化の事業については、私たちがしっかりと研修してまいりました。数が少ない中でも非常に有効な施設であることを実感してまいりましたので、敢えてこの場で質疑として申し上げた次第であります。以上でございます。

○吉田豊彦議長 今のは、要望という形でよろしいでしょうか。

○9番 小林友明議員 はい、よろしくお願いいたします。

○吉田豊彦議長 ————— 次に、10番 香川宏行議員。

○10番 香川宏行議員 1点だけ質疑をさせていただきます。歳出の3款事業費、

ページ数で言いますと14ページになりますが、その中の1目事業総務費13節の委託料の一番下になりますが、建材中の石綿含有率測定業務委託料25万1,640円とありますけれども、これは旧焼却施設事務所の解体に伴うものだと思うのですが、その結果はどのようなであったのかをお願いしたいと思います。

○吉田豊彦議長 執行部の答弁を求めます。——— 次長。

○片寄仁志次長 香川議員さんの質疑についてお答え申し上げます。この建材中の石綿含有率測定業務委託料につきましては、旧管理棟の解体をする時に、昭和47年にできた建物ですから、中に含まれている可能性があるということで、7ヶ所ほど床のPタイル、タイル、耐火材である天井材、外壁の吹き付け材、断熱材等进行检查させていただきました。結果としましては、ほとんどが含有が認められなかったのですが、1ヶ所玄関の軒の天井材にクリソタイルが含まれていました。これが5%から50%含まれているということで、工事に際しましては全て覆って外に飛散しないように、作業レベル3の施工でやらさせていただいたという形になっております。以上、答弁とさせていただきます。

○吉田豊彦議長 再質疑ありますか。

○10番 香川宏行議員 結構です。

○吉田豊彦議長 ——— 次に、12番 金子真理子議員。

○12番 金子真理子議員 19ページになります実質収支に関する調書のところで、実質収支額ですが、7,713万2,685円ということで広域の分は、1,400万1,287円と、カッコにある数字でございますが、これの実質収支につきましては28年度に繰り越されるということでございますが、広域の分においてはこういったところに補正額として上がってくる形になるのだろうかというところをお尋ねしたいと思います。また、補正予算につきましては、2月定例会がございしますが、そこで示されるということでよろしいでしょうか。

○吉田豊彦議長 執行部の答弁を求めます。——— 次長。

○片寄仁志次長 金子議員さんの質疑にお答え申し上げます。まず、どの部分において調整が図れるかですが、今年度28年度予算におきまして、前年度繰越金という形で、2,600万円計上させていただいております。その内、600万円を広域分として計上させていただいておりますので、先ほど言われました実質収

支の広域分1, 400万1, 287円の内、600万円については現予算で組んであるという形になります。なお、残りの800万1, 287円につきましては、補正予算の財源とするとともに、2月でできれば補正をさせていただきたいと思っております。以上で答弁とさせていただきます。

○吉田豊彦議長 再質疑ありますか。——— 12番 金子真理子議員。

○12番 金子真理子議員 実質収支の中で広域分でないものにつきましては、財政調整基金の方に繰り入れられて行くのかと思うのですが、この広域分につきまして建設の基金というのは、各構成市で既に設置して行っていると思うのですが、こちらの組合として現在示されているのは、建物の建設費のみであって、周辺整備であるとか土地購入、土地の整備費等はまったく掲げられてないのですが、広域の事務組合としての基金の必要性というのは感じているのか、必要性はないという判断になるのか、そのあたりを関連になりますので、お聞かせいただきたいと思っております。

○吉田豊彦議長 執行部の答弁を求めます。——— 次長。

○片寄仁志次長 金子議員さんの再質疑について、答弁させていただきます。財政調整基金につきましては、2市における現施設分の基金として今積み立てさせていただいております。先ほども申し上げましたが、2,000万円については実質的に28年度に繰り越しておりまして、今回の残額につきましては広域分と同じく2月に一緒に補正し、財政調整基金にいくら繰り入れるかにつきましては、まだ管理者等とも相談しておりませんので、今後調整させていただきたいと考えております。

また、現時点におきまして、広域分につきましては負担金割合等もありますので組合で積み立てるというのは、現在まだ検討していないというところでございます。

○吉田豊彦議長 他に質疑の通告はありません。これをもって、質疑を終結いたします。

△上程議案の討論、採決

○吉田豊彦議長 次に、議案第14号について、討論に入りますので、討論のあ

る方はご通告願います。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○吉田豊彦議長 討論の通告はありません。これをもって、討論を終結いたします。

次に、採決いたします。議案第14号平成27年度鴻巣行田北本環境資源組合会計歳入歳出決算認定について、原案のとおり認定するに賛成の議員は、挙手願います。

[賛成者挙手]

○吉田豊彦議長 挙手全員と認めます。

よって、議案第14号は、原案のとおり認定することに決しました。

△特定事件の委員会付託

○吉田豊彦議長 次に、日程第5、特定事件の委員会付託を議題といたします。

お諮りいたします。次期議会の議会運営に関する事項、会期日程及び議長の諮問に関する事項については、閉会中の継続審査として議会運営委員会に付託したいと思います。

これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○吉田豊彦議長 ご異議なしと認めます。

よって、次期議会の議会運営に関する事項、会期日程及び議長の諮問に関する事項については、閉会中の継続審査として議会運営委員会に付託いたします。

以上をもって、本定例会に付議されました案件の全部を議了いたしました。

これをもちまして、平成28年第3回鴻巣行田北本環境資源組合議会定例会を閉会いたします。

御協力、誠にありがとうございました。

午後 2時 42分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年 月 日

鴻巣行田北本環境資源組合議会議長 吉 田 豊 彦

鴻巣行田北本環境資源組合議会議員 香 川 宏 行

同 小 林 友 明